

第9回塩竈市長期総合計画審議会の概要

日 時	令和3年9月14日(火) 18:30~19:30
場 所	ホテルグランドパレス塩釜 3階 平安の間
出席委員	柳井会長、草間副会長、佐々木副会長、渡辺委員、丹野委員、下館委員、土井(儀)委員、櫻井委員、佐藤(英)委員、赤石委員、江湖委員、三瓶委員、土井(萬)委員、本間委員、大山委員、阿部委員 以上 16名
塩 竈 市	市長、副市長、市民総務部長 (事務局) 市民総務部政策課 総合計画策定室長、総合計画策定室員
委託コンサルタント	(株)国際開発コンサルタンツ
司 会	政策調整監

1. 開会

2. 会長挨拶

今日が最終の審議会である。この間、各界や若者の代表である委員の皆さんから様々なご意見を頂戴し、「海と社に育まれる楽しい塩竈」を都市像とする市民主体の計画が仕上がった。事務局が苦勞しながらも委員の皆さんの意見を調整してくれた。

今日はコロナの影響を考慮して少し会議時間が短めの設定だが、内容は濃く、問題点・ポイントをきちんと明確にしながら進めていきたい。

3. 議事概要

(1) 第6次長期総合計画基本構想素案について

(会長) 議事の事案に入る前に、委員の皆さんにお願いしたい。この後、前回に続き基本構想・基本計画素案について説明をうけるが、前回の審議会での意見、委員からの書式での意見、パブリックコメント、市内部での確認内容を踏まえて見直し、反映を行った結果が手元の資料である。今回が最後の審議会であり、市長に答申する案の最終的な確認を行う会議になる。見直しによる変更点について事務局から説明を受けた後、皆さんから最終的な意見をいただき確認をしていきたい。

事務局から資料1「第6次塩竈市長期総合計画序論・基本構想(素案)」の説明

(会長) 意見がないようなので、この案で了承することとし、次の議事に移る。

(2) 第6次長期総合計画前期基本計画素案について

事務局から資料2「第6次長期総合計画前期基本計画素案について」、資料3「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」、資料4「第8回塩竈市長期総合計画審議会資料への意見について(まとめ)」、資料5「第6次長期総合計画へのパブリックコメントの結果について」、資料6「第6次長期総合計画資料への意見について(まとめ)」について説明

(会長) 施策の体系に関わることであり、各ステークホルダーの代表として、特にチェックしてほしい。基本計画から実施計画に移行する際、必要な文言が含まれなければ、実施計画で反映されない。

意見がないようなので了承先に進めるが、また最後に伺うので、お気づきの点があればその際に申し出てほしい。

(3) 各種指標の設定について

事務局から資料7「前期基本計画における各種指標の設定について」、資料8「第6次長期総合計画 成果指標一覧」について説明後、意見交換及び質疑応答

(委員) 全体的に各委員のご指摘を丁寧に反映していて良い。

資料8の成果指標について伺いたい。基準値と5年後の目標値が示されているが、目標は累計した数の方がいい物もある。例えば、新規の指標である「気候変動に関する普及啓発活動数」は、「令和8年度に2回以上」と書いてあるが、それまでの活動状況がよく分からない。その途中経過が分かるように記載してほしい。また、異常気象は重要なテーマなので、普及啓発活動は前倒して進めてほしい。

(事務局) この指標は気候変動に関する取組を、令和8年度から始めるという意味ではなく、現状でも環境イベントを行っている。気候変動は重要なテーマであり、SDGsにも関わるため、今回指標を新規に取り入れた。このような取組を早め早めに進めたいと考えている。累計で表現するかどうかは、再度調整したい。

(委員) 同じく資料8の2-7の「自殺死亡率」については、令和2年度は自殺による救急搬送がとて多かったとの報告がある。令和3年度も同様の状況があると考えると、目標値の算定期間に今年度を入れていいのだろうか。

(事務局) 国や県が自殺死亡率3割減という目標を設定しているので、そちらと整合性を図っている。令和2年度はコロナの影響でそういったことが多かったと推察されるが、心の健康に関する取組を充実させて、この目標値を目指していきたい。

(委員) 2-8の『嫌いなものも残さず食べる』子どもの割合」という表現に、少し抵抗を感じる。なにか良い文言はないのだろうか。

(会長) 私も少し引っかかっていた。

(事務局) 無理矢理食べさせると勘違いされる場合もあるかもしれない。関連計画の表現を使っているが、再度検討する。

(会長) 表現については事務局に一任で良いですね。

(4) 答申文案

事務局から『第6次塩竈市長期総合計画』(案)について(答申)について説明

(会長) ご意見はないようなので、この案で認めていただいたということにする。

それでは、本日の議事はこれまでとする。

今日のご意見、ご指摘の反映は会長である私に一任させていただき、事務局と調整して、最終的に決定していくこととするがよろしいだろうか。また、その他の細かな文言の修正については、事務局一任とさせていただきたい。

後日、この案を草間副会長、佐々木副会長とともに市長に答申する。委員の皆さんには、第6次長期総合計画について闊達なご議論をいただいた。私自身も、勉強させてもらったと同時に、市民を中心に考えていくことを学ばせていただいた。改めてお礼を申し上げます。

5. 閉会

(市長) 第6次長期総合計画に対する大変熱心なご審議は、大変心強く、感謝を申し上げます。この間、新型コロナウイルス感染症は市民生活や市内の経済に多大なる影響をもたらした。当審議会も開催できない期間があり、皆様方には大変な心配をおかけしたが、柳井会長、草間先生、佐々木先生をはじめ、委員の皆様方には、本計画の策定のために大変なご尽力と熱心な議論を重ねていただいた。このまちの将来像とそれを実現する道筋を今回分かりやすくまとめていただいた。答申後は9月定例会で議会に提案しご審議いただく。

行政として、ときに社会情勢や財源の厳しさを言い訳にしながら今日まで来たことを反省したい。厳しい状況にあっても、皆様の思いを胸にその目標に向かって突き進む強い意志が必要だと思っている。

「シビックプライド：郷土に対する誇り」を市民の皆様、塩竈に関係する多くの皆様方と作り上げていきたい。計画に沿って動くだけでなく、計画とともに作り上げていくことが重要である。皆様方には、この計画を育て上げながら、1人でも多くの塩竈を愛する皆様方を巻き込んでいってほしい。

全力を傾けてこの計画の実現に向けて取り組むとお約束し、心からの御礼と感謝の挨拶に代えさせていただく。ありがとうございました。

(事務局) 今後この計画を様々なかたちで見守っていただきたい。皆様大変お疲れ様でした。ありがとうございました。